

ふれあいプレス

発行 大分合同新聞
丹生プレスセンター
大分市大字久土518-6
TEL592-4272 Fax592-4240
創刊 平成10年
朝日・毎日・経済・西日本
nyupress@gmail.com

久土区夏の風物詩

久土区（江藤哲夫区長）の伝統行事「虫追い祭り」が29日、地区内で催された。

松明を手にした子どもや大人たちが害虫退散と豊作を願った。

久土住民の小学生親子ら約150名あまりが参加。出発地点の旭化成南門前で神事後、久土神社までの約1.7キロの道のりを笛や太鼓の音と共に松明を田んぼにかざしながら歩いた。

虫送りの起源は、「平家物語」

に斎藤実盛が討たれる際、乗っていた馬が稲の切り株につまずいたところを討ち取られたために、実盛が稲を食い荒らす害虫（稲虫）になったとの言い伝えがある。そのため、稲虫（特にウンカ）は実盛虫とも呼ばれ、虫送りのことを実盛送り（または実盛祭）ともいう。（『角川俳句大歳時記』夏）



玉串を捧げる江藤久土区長



神事は厳守に執り行われた



松明に火をともし準備完了



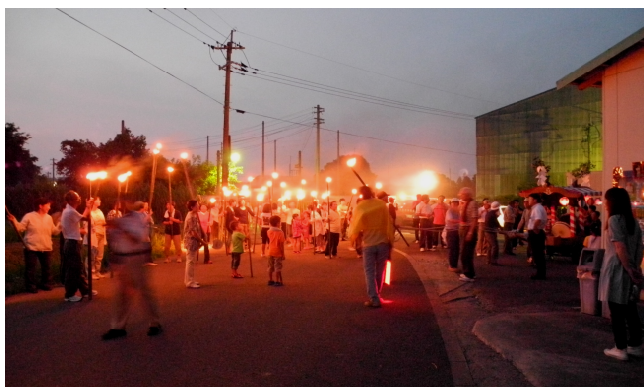
私だって、男の子には負けないわ！



太鼓練習の成果を発揮する子どもたち



子どもの太鼓で威勢良く進む



幻想的な灯りで雰囲気は最高潮



孫と一緒にほのぼのと？



若い家族での参加が多くみられた



燈明を持って歩く今村英司副区長



「お母さん、ぼくも持たせて～」